

# 新春を迎えて

## 各会派の抱負

3名以上で構成される会派について  
新年の抱負を掲載しています。  
各会派の構成については、  
最終面をご覧ください。



### 区民生活を守るための 政策実現を

練馬区議会公明党 (12人)

新年あけましておめでとうございます。  
昨年、大変お世話になりました。  
新政権はマニフェストを相次いで変更し、また子育て応援特別手当等の執行を停止して国民と自治体に多大な影響を及ぼしました。また、景気はさらに悪化しデフレとなり、多くの国民が大変苦しんでおります。  
公明党は昨年、定額給付金の支給や地元事業者支援のためスーパーサポート貸付などの緊急経済対策をはじめプレミアム付き区内共通商品券の発行、また命と健康を守るため乳がん・子宮頸がん検診の無料クーポンの発行や回収した食用油を精製して清掃車の燃料とする運用開始を実現することができました。  
本年も厳しい経済状況が続くと思われませんが、区民生活を守るため、区内事業者をはじめ高齢者・子育て支援など皆様の声を大切に区政に生かし、実現めざし全力で戦ってまいります。更なるご支援をよろしくお願い申し上げます。

### 住民福祉増進の 本来の役割果たせ

日本共産党練馬区議団 (6人)

新年明けましておめでとうございます。  
自公政権が退場し、新しい政治が始まりました。主権者・国民が日本の政治の前に動かしたことはまさに歴史的なことです。しかしその新政権は、国民の願いに応える側面も一つ一方で、後期高齢者医療制度廃止の先送り、さらには保育所設置等の最低基準の緩和など国民との間で大きな矛盾を引き起こしています。  
こうした情勢のもと、区民とともに住民福祉の増進のため自治体が本来の役割を發揮することが求められています。昨年は区民の命とくらしを守るため、区民と区議団が力を合わせ、子どもへの国保資格証発行中止や介護保険料の一定の引き下げ、中小企業への融資制度の拡充など区民施策を前進させることができました。  
74億円の黒字と673億円の基金をもつ練馬区において、保育園待機児の解消や特養ホームの増設など安心して住み続けられる練馬をめざし、今年も力を尽くします。

### 練馬区でも 事業仕分け導入を!

民主党練馬クラブ (5人)

新年明けましておめでとうございます。  
区民の皆様におかれましては、私共の党派活動に対し、多大なるご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。  
昨年行われた総選挙では、多くの方々の高い評価と期待を頂き政権交代が現実のものとなりました。私共党派としても皆様のご期待にお応えする為、従来にも増して強い責任感を持ち真摯に活動が続けてまいります。  
昨年に続き、区の財政状況は依然として厳しさを増しております。区民生活を守っていく為には、行政運営において事業内容や手法等全般を見直し、行政のスリム化・効率性の向上・透明化を図ることは必須であります。先般の私共党派の提言により、来年度から練馬区でも事業仕分けの導入の検討に入ります。今後も区政・区議会への区民参加を進め、区民と協働の区政運営の実現に向け頑張ってまいります。  
本年も引き続きご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

### 政権交代から、 政策実現へ

練馬区議会民主区民クラブ (4人)

明けましておめでとうございます。  
日頃からのご指導、ご支援に心から感謝し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。  
昨年は、政権交代が行われいよいよ今年、政策実現の年となります。格差是正への経済政策や、弱い立場の人への福祉政策、保育園の拡充や救急医療の体制など、練馬区にも沢山の課題が残っています。  
国では、事業仕分けなど初めての作業が行われ、予算編成における政治の透明化が進んで来ましたが、同時に地方分権や地域主権の制度も進み、国と地方自治体との関係もより透明化してくると思えます。  
今後とも、私たちの会派は、区民の声を活かし政策実現へと活動して参ります。  
平成22年が皆様にとって良い年となりますことをご祈念申し上げます。

### くらしを守る区政へ 全力を尽くす

社民党・市民の声・ふくしフォーラム (3人)

明けましておめでとうございます。  
昨年は大きな変化の年でした。それまでの市場万能・弱肉強食の新自由主義路線が、国民の怒りの声のもと明確に否定され政権が変わったからです。改革の名のもとで疲弊した国民のくらしを立て直し、拡がった格差を是正し、壊された安全や安心を取り戻していくことがこれからの政治の大きな課題です。これまでの国の政治に追随してきた練馬区政もまた変わらなければなりません。わたしたちは、そのために全力を尽くします。  
基本構想に続いて、今年も長期計画の内容が大きな議論になります。委託化・民営化、保育園待機児対策、練馬駅北口有地活用、光が丘学校跡地施設利用、外環道などを始めとして練馬の区政の方向が問われる大きな課題がめぐる境の中で、大事な1年になります。区財政も厳しくなる環境の中で、区民のくらしにしっかりと視点をすえて練馬区政に「変化」を求めてがんばってまいります。

### 人を大切にする政治を

生活者ネットワーク (3人)

「政治を変えたい」という国民の意志が、政権交代を実現しました。道路や建物などの公共工事よりも、年金、医療、保険など社会保障の充実が求められています。練馬区政も「人を大切にする政治」に変えなければなりません。  
大事なことは市民が決める時代です。予算編成や政策立案から決定までの過程を積極的に公開し、主権者である区民との話し合いの場をつくっていかなくてはなりません。  
練馬区が進めた行革により、窓口業務や施設管理など多くの事業が、経費削減を目的に民間に委ねられてきました。その結果、官製ワーキングプアを生み、企業の経営難による賃金の未払いが発生するなどの歪みが顕著です。効率優先の行革のあり方を問い直していきます。  
暮らしの安定には、何より平和が大事。「核廃絶」への期待が、世界全体で高まっています。憲法9条の実現のためにも、非核宣言都市である練馬から発信していきます。

### 70万区民の安全・安心の 実現を!

練馬区議会自由民主党 (15人)

区民の皆様、新年あけましておめでとうございます。  
近年の世界同時不況の影響による、景気後退と区民生活への悪影響を防ぐため、本区では21年度当初予算、補正予算ともに緊急経済対策を策定するなど、区民生活の安定を最重視した諸施策を実施してきました。昨秋、景気の基調判断は次第に上向きつつあると修正され、ようやく底を打つと期待されましたが、その後は新政権による有効な経済対策が示されず、急激な円高や株安、更なるデフレの進行による影響により、大変厳しい年明けとなりました。しかし本年も、私達練馬区議会自由民主党は志村区長とともに区民生活の安全・安心の確保を主眼に、区内病床数の拡充、特に周産期医療と小児医療の充実、又高齢者・障害者施策、子育て支援を始めとした健康福祉施策を更に伸展させる他、外環道・大江戸線延伸など都市インフラ整備に引き続き取り組むことで、責任政党としての責務を果たしてまいります。年頭にあたりお誓い申し上げます。